

## ▲△▲ 鶏冠山・鶏冠尾根戸渡尾根 ▲△▲

西山 哲明

◎令和元年 6 月 17 日

◎メンバー 単独

◎ルートタイム 西沢溪谷 4:55～鶏冠山 9:00～木賊山 11:40～ 西沢溪谷:14:55

鶏冠山は、そのうちに行こう行こうと思っていた。暑くなれば沢に行きたいし春と秋はクライミングの時期だし、このルートは整備されているし、久しぶりの山行には気軽に行けるのではないかと思ったからだ。

西沢溪谷入り口の駐車場で前泊した。朝起きて昨日スーパーで半額で買った弁当をもしやもしや食べながら、笛吹川の沢の音を聞く。少し肌寒く「あ、さみいなあ」ボヤきつつとザックを背負うと、かなり軽いと感じた。ロープもハーネスもガチャの類も必要ないので、落石防止のヘルメットと緊急用のスリングしか、登攀具は持ってこず、今回はライト&ファストならぬ、ライト&スローリーを目指したので、のんびりのほほんで行こうと思ったからだ。

いつもの吊り橋を渡り標識に導かれ右に折れて河原にでる。上流に上がると渡渉をするようになる。別パーティーがおり渡渉を躊躇していた、なんとか靴を履いたまま渡れないか思案していたようだ。自分は当初から裸足で渡る予定なため、靴下を脱いでザバザバと東沢の冷水に足を入れる、水が冷たくて気持ち良い、東沢には“ホラの貝ゴルジュ”がある、泳ぎが中心のなかなか面白い沢ルートだ、またやりたいなあと思いつつもそれなりに厳しいんだよなあ、などと考えたりもした(どなたか行きたい人求む！)。

渡渉をするとまたまた親切に標識があるので、尾根に向かい登っていくとしっかりとした登山道となっている、ここから第一峰まで標高を稼ぐことになる。正直ここが一番めんどろくさかった、道はしっかりしてるけど景色見えないし、岩ないし、つまんないです。

やっと大きな岩がでてきた、ここが第一岩峰だろう、左右に道が分かれていたが、右に進むと取り付きに着いたが、情報だと鎖があると聞いていたので、きっと反対の左の方が良いのだろう。よく見ると、5.7 程度の登りなのでいけそう、足慣らしにも良さそうなのでそのまま登る。先程のパーティーが左から鎖の音をガチャガチャ音を立てながら登っていた。変なところから自分が出てきたので驚かしてしまったが、挨拶をかわし先に進む。

岩稜の尾根を進むと第二岩峰に、ここにも鎖が付いている。下部が悪いので鎖と木が立てかけてあった。鎖も木も使わないなら、下部はボルダームーブで登ることとなるので面白かった。上は快適ルンルンである。

第三岩峰までもかなり近くて、すぐに取り付きに着いた。高さは5～10m くらいだろう、ここは鎖は無くそのかわり迂回路がしっかりとあった。



ルートファインディングをすると、足場もあり手も充分あるので、そのまま登る。左側が切れていて高度感もあり面白そう、体感的には 5.7 から 5.8 程度の快適なクライミングを楽しめる、中間支点もしっかりしていたのでピッチをきりながら登っても楽しめそうだ。

久しぶりの山なのでなるべく山に長くいたい、天気もいいし富士山もよく見えるので休憩をたっぷりとりながら、ゆっくりゆっくりと時間をかけて登ったが、岩場はもうおしまい。もう少し長いといいなあなど感じてしまう。第三岩峰登ると広いピークに着く、ここから鶏冠山の頂上はすぐだった。もう少し岩稜帯が長いと良いのだが、ここ木賊山（とくさやま）までは、赤テープや道標を見ながらいけば藪漕ぎはなく着く事ができる。赤澤さんや藤野さんたちが登った時にはハイマツ帯やシャクナゲの藪漕ぎがあったようだが、全くその気配すら感じないほど道ができてしまっていた。



木賊山に着いて仮眠をして徳ちゃん新道を駆け下りる、途中オコジョに出会うことができた。徳ちゃん新道は苦手だがいいこともあるなあと平日も山行を満喫することができた。



(了)